

經濟・財政一體改革工程表2023

(社會保障部分抜粋)

2023年12月21日

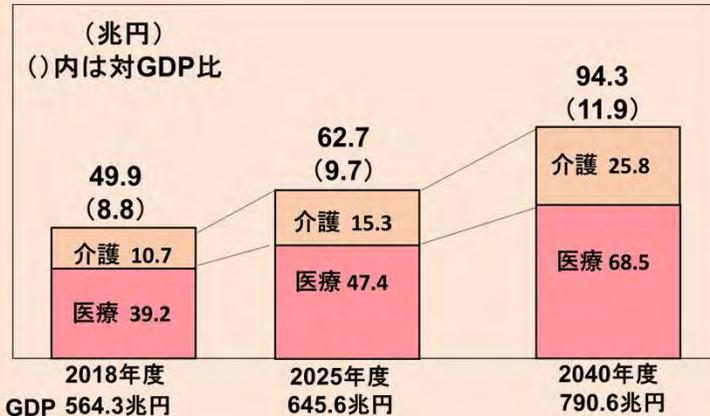
內閣府

【ポイント】

・医療・介護のDXの推進、介護ロボット・ICT等の新たな技術の活用、タスク・シフト/シェアの推進、オンライン診療などの取組を通じて、効果的・効率的で質の高い医療・介護サービスの提供体制を確立。

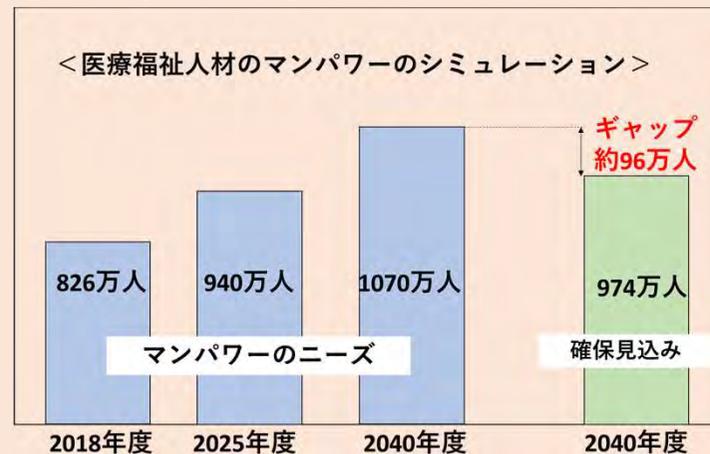
【現状・課題】

○医療・介護給付費の増への対応



(注) 医療については、単価の伸び率の仮定を2通り設定しており、この図では②のケースを記載。
 (出典) 2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材) - 概要 - (内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省 平成30年5月21日) を基に作成

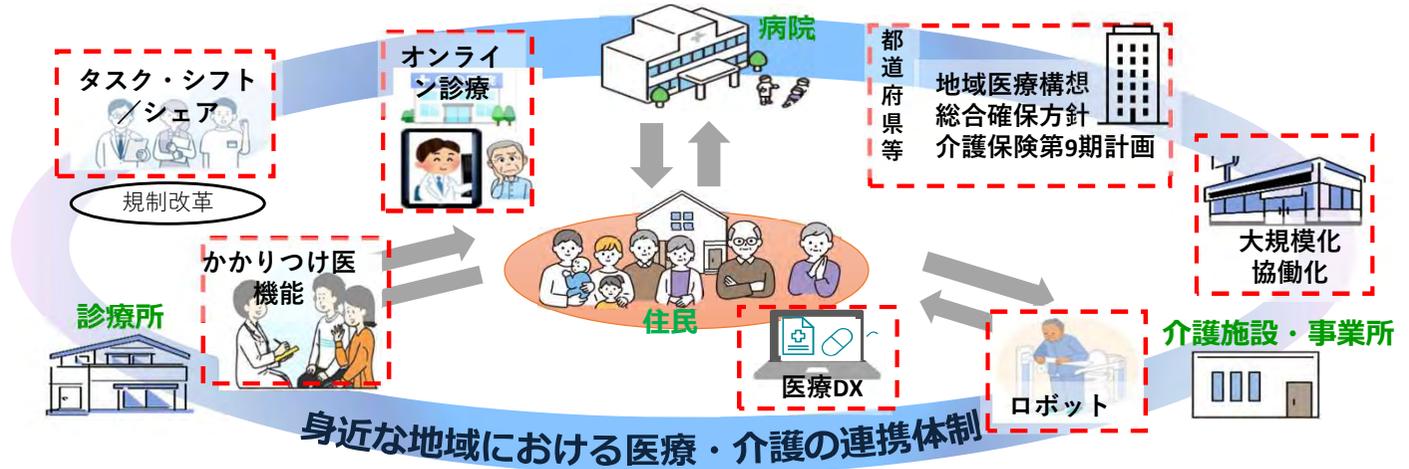
○担い手不足への対応



(出典) 2040年を展望した社会保障・働き方改革本部のとりまとめについて【参考資料】 - (厚生労働省 令和元年5月29日) を基に作成

【目指す姿】

新技術の徹底活用により、
 限りある人材等で増大する医療・介護ニーズを支える。



【改革の方向性】

【工程表に位置づけた取組】

- 医療DXの推進
- 全国医療情報プラットフォームの創設 (1) (補)
- かかりつけ医機能
- オンライン資格確認の推進とマイナンバーカードと健康保険証の一体化の加速 (2) (補)
- オンライン診療
- オンライン診療・服薬指導含めた医療の充実 (11) (制)
- 新技術の徹底活用
- ロボット・IoT・AI・センサーの活用等を通じた生産性の向上 (15,52vi) (報)(補)
- 生産性向上
- 介護の経営の協働化・大規模化及び介護の経営状況の見える化 (52 iii) (制)
- タスク・シフト/シェア
- 従事者の役割分担の見直しと効率的な配置 (52 i)
- 多様な人材の活用
- ※ 規制改革実施計画に基づくタスクシフト等の対応等 (報)(制)(規)
- 介護助手など多様な人材の活用 (36) (補)
- 2025年以降の医療・介護の総合的な提供体制
- 地域医療構想の実現、医療介護連携 (39) (補)(制)
- 介護保険第9期計画期間に向けた必要な検討 (70、72、73) (制)

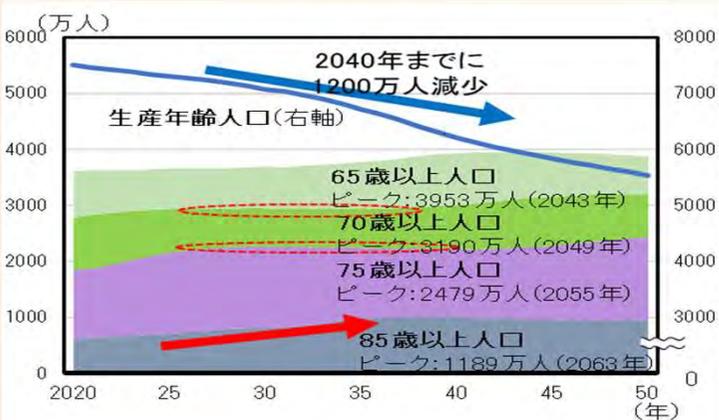
(報): 報酬改定 (制): 制度改正等 (規): 規制改革 (補): 補助金等

【ポイント】

・生産年齢人口が減少する中、働き方に中立的な社会保障制度、予防・健康づくり等を推進し、生涯現役社会を実現。

【現状・課題】

○生産年齢人口の減少への対応

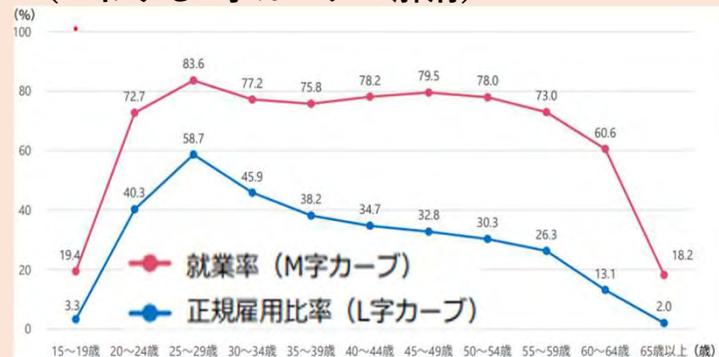


(出典)令和5年経済財政諮問会議(第12回)資料2

○有配偶者女性パートタイム労働者の21.8%が就業調整している現状への対応

(出典)令和3年パートタイム・有期雇用労働者総合実態調査

○女性の正規雇用化への対応
(いわゆるL字カーブの解消)



(出典)令和4年男女共同参画基本計画

【目指す姿】

年齢にかかわらず生涯現役で活躍できる環境整備
(多様な働き方、正規雇用化の推進、健康寿命の延伸)



20歳

40歳

65歳

- ・年収の壁への対応
- ・L字カーブ問題への対応
- ・働き方に中立な社会保険

- ・高齢期の働き方に関する制度見直しの検討(公的年金制度等)

- ・予防・健康づくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・健康寿命の延伸

【改革の方向性】

【工程表に位置づけた取組】

■短時間労働者への被用者保険の適用拡大

■勤労者皆保険制度(更なる適用拡大)の実現を目指した検討 (34) (制)

■フリーランス・ギグワーカーへの社会保険の適用の在り方の整理

■年収の壁への対応

■多様な高齢期の職業生活に応じた公的年金制度の整備 (35) (制)

■高齢期の多様な働き方に応じた環境整備

■糖尿病等の生活習慣病や慢性腎臓病の予防の推進 (17) (制)

■予防・健康づくりの推進(データヘルス計画等)

■多様な高齢期の職業生活に応じた公的年金制度の整備 (35) (制)

(補): 補助金等 (制): 制度改正等

女性・高齢者の活躍
多様な就労の推進

更なる雇用の促進

生涯現役社会の実現

【ポイント】

- 「国民皆保険の持続可能性」と「イノベーションの推進」を両立しながら創薬力を強化。

【現状・課題】

○医薬品開発は多額の費用と時間

- 医薬品の開発には10年以上の時間と数百億～数千億円規模の費用が必要
- 成功率は年々低下（20年前：約1.3万分の1→現在：約2.5万分の1）し、難易度が上昇 ※厚生労働省HPを元に作成

○上昇傾向にある薬剤費にも対応する必要



○貿易収支では輸入超過による赤字が拡大

日本の医薬品の輸出入差額（金額：兆円）

	輸出	輸入	輸出入差額
2000	0.3	0.5	-0.2
2018	0.6	3.0	-2.3
2022	1.1	5.7	-4.6

※財務省「貿易統計」より作成。

○日本起源品目の世界市場シェアが低下する中、我が国の創薬力強化が必要

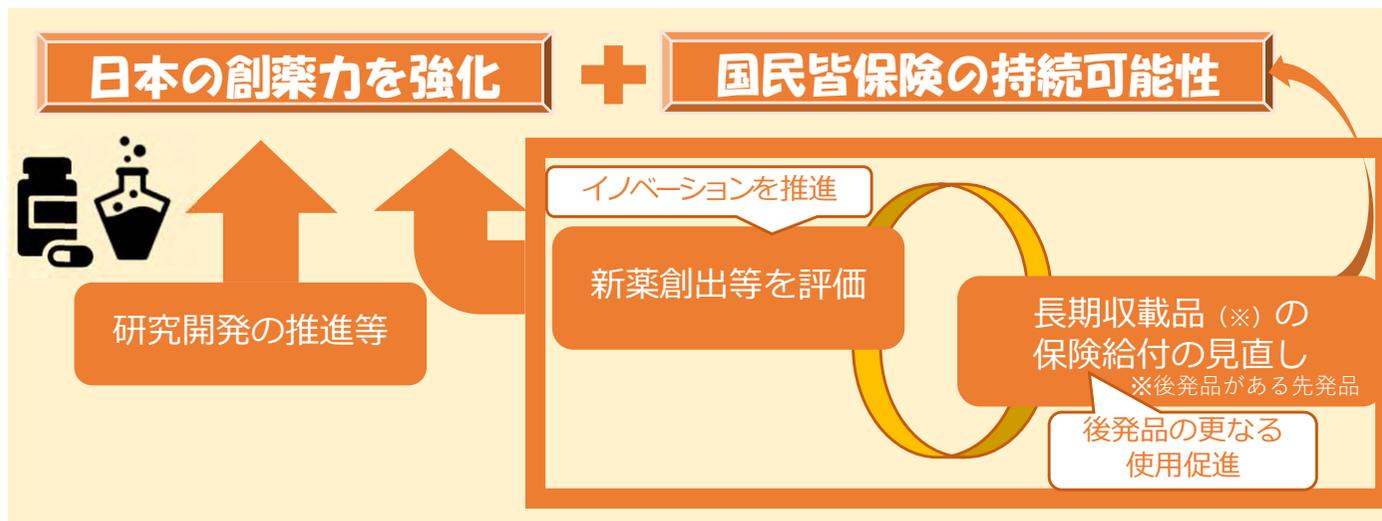
医療用医薬品上位100品目の国別起源の推移

	2003	⇒	2019
	40	⇒	49
	10	⇒	10
	12	⇒	9

※厚生労働省HPを元に作成

【目指す姿】

研究開発型ビジネスモデルへの転換と必要な医薬品が国民に安定的に供給される仕組みの確立



【改革の方向性】

■ 政府全体の司令塔機能の下で、総合的な戦略を策定

■ イノベーションの適切な評価

■ 長期収載品の保険給付の在り方の見直し

【工程表に位置づけた取組】

■ 健康・医療戦略に基づき、創薬エコシステムの構築など医薬品の研究開発の推進等総合的な支援措置を講ずる(33)

■ 薬価制度抜本改革の更なる推進(60)
 ■ 薬剤自己負担の引上げについて幅広い観点から関係審議会において検討し、その結果に基づき必要な措置を講ずる(66)

報：報酬改定 補：補助金等 制：制度改正等 税：税制